

アフィリエイト市場に関する調査結果 2009

－不況を背景として、引き続き拡大するアフィリエイト市場－

【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてアフィリエイト市場の調査を実施した。

1. 調査期間：2009年5月～8月
2. 調査対象：ASP（アフィリエイトサービスプロバイダ）、関連事業者18社
3. 調査方法：当社専門研究員による直接取材及び電話・e-mailによる調査、ならびに文献調査併用

【本調査におけるアフィリエイト市場とは】

パソコンや携帯電話のWEBサイトに貼られた広告を通して、商品の購入に繋がれば報酬が得られるシステムを指す市場である。同市場には、各種広告主とサイトオーナーを仲介する代理店方式のASP型、仮想ショッピングモール運営企業がアフィリエイトプログラムを提供するショッピングモール型、自社のショッピングサイトにある商品の販売促進を目的として、自社が広告主となりアフィリエイトプログラムを提供する独自型があり、成功報酬型の広告を対象とする。

【調査結果サマリー】

- ◆ **アフィリエイト総市場は2008年度に813億1,000万円（前年度比120.2%）まで拡大**
2008年度（2008年4月～2009年3月）のアフィリエイト市場規模は、PC向けアフィリエイトが521億5,000万円（前年度比117.3%）、携帯向けアフィリエイトが291億6,000万円（前年度比125.7%）となった。費用対効果を重視する新規広告主の増加等が市場拡大に寄与している。
- ◆ **アフィリエイトの質向上のため、コンサルティングやマッチングが重視される傾向**
費用対効果を重視する広告主が増加する中、ASP（アフィリエイトサービスプロバイダ）はコンサルティングや出稿広告商材と広告掲載媒体との適切なマッチングに注力している。
- ◆ **アフィリエイト総市場規模は2010年度に1,000億円を超え、2012年度は1,235億円に**
今後伸張率は鈍化するものの、2009年度（2009年4月～2010年3月）には、アフィリエイト総市場規模は、949億円（前年度比116.7%）に、更に2012年度（2012年4月～2013年3月）には、1,235億円（前年度比106.0%）まで拡大すると予測する。

◆ 資料体裁

資料名：「アフィリエイト市場白書 2009-2010」
発刊日：2009年8月28日
体裁：A4判 368頁
定価：157,500円（本体価格150,000円 消費税等7,500円）

◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地：東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長：水越 孝
設立：1958年3月 年間レポート発刊：約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先（当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>）

（株）矢野経済研究所 営業本部 広報・PRグループ TEL：03-5371-6912 E-mail: press@yano.co.jp

本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報・PRグループ迄お問合せ下さい。

【 調査結果の概要 】

1. 市場概況

2008年度のアフィリエイト総市場の規模は813億1,000万円（前年度比120.2%）となった。この急拡大の背景としては、アフィリエイト市場には費用対効果を重視する新規広告主の増加と既存広告主の予算額の増大、広告掲載媒体の増加があり、一方で生活防衛や副業を目的として、アフィリエイトを開始するパートナー（ユーザー）が増加していることがある。

更にEC（電子商取引）分野においては、ブログや商品レビュー上で展開されているクチコミの影響力に対する評価が向上しており、そのクチコミに期待してアフィリエイトを開始する広告主（大手広告主含む）が増加している事も、市場拡大の要因となっている。

同時に、携帯向けアフィリエイトでも、大型SNS（ソーシャルネットワークワーキングサイト）などの大型媒体がアフィリエイトを採用している事や、モバイルインターネットユーザーのモバイルインターネットの利用時間や利用頻度の増加が、市場拡大の大きな要因になっている。

2. 注目すべき動向

広告主の費用対効果に対する意識の高まりにより、アフィリエイトの質（効果）の向上が強く求められている傾向がある。

このため、ASP（アフィリエイトサービスプロバイダ）やアフィリエイト関連事業者（アフィリエイトエージェント^注、ワンタグアフィリエイトソリューション提供企業^{注1}など）により、1) 費用対効果向上のためのコンサルティング、2) 広告主の広告内容と媒体のコンテンツ内容の適切なマッチング、3) 効果の高い媒体のランキング化、等が実施されている。

このようなアフィリエイトの質（効果）を向上させるための取組は、新規広告主の増加やアフィリエイトに注力する広告主の増加に繋がっている。

3. 将来予測

アフィリエイト総市場規模は2010年度に1,000億円を超え、2012年度に1,235億円まで拡大すると予測する。

引き続き広告主の費用対効果に対する意識の高まりが予測される事から、広告主のアフィリエイト予算額の増大や広告主数の増加が今後とも続くものと考ええる。

これに加え、大手広告主の増加や、パートナーのアフィリエイト実施や報酬獲得へのハードルが低下してアフィリエイトパートナー数が増加する点、EC市場の更なる伸張などが拡大要因となり、引き続きPCアフィリエイト市場は伸張すると考える。

ただ、アフィリエイト業界全体では、なりすましで不正に報酬を獲得するなどの問題があり、モバイルアフィリエイト市場においては広告掲載サイトが不足していることなどの問題点もある。

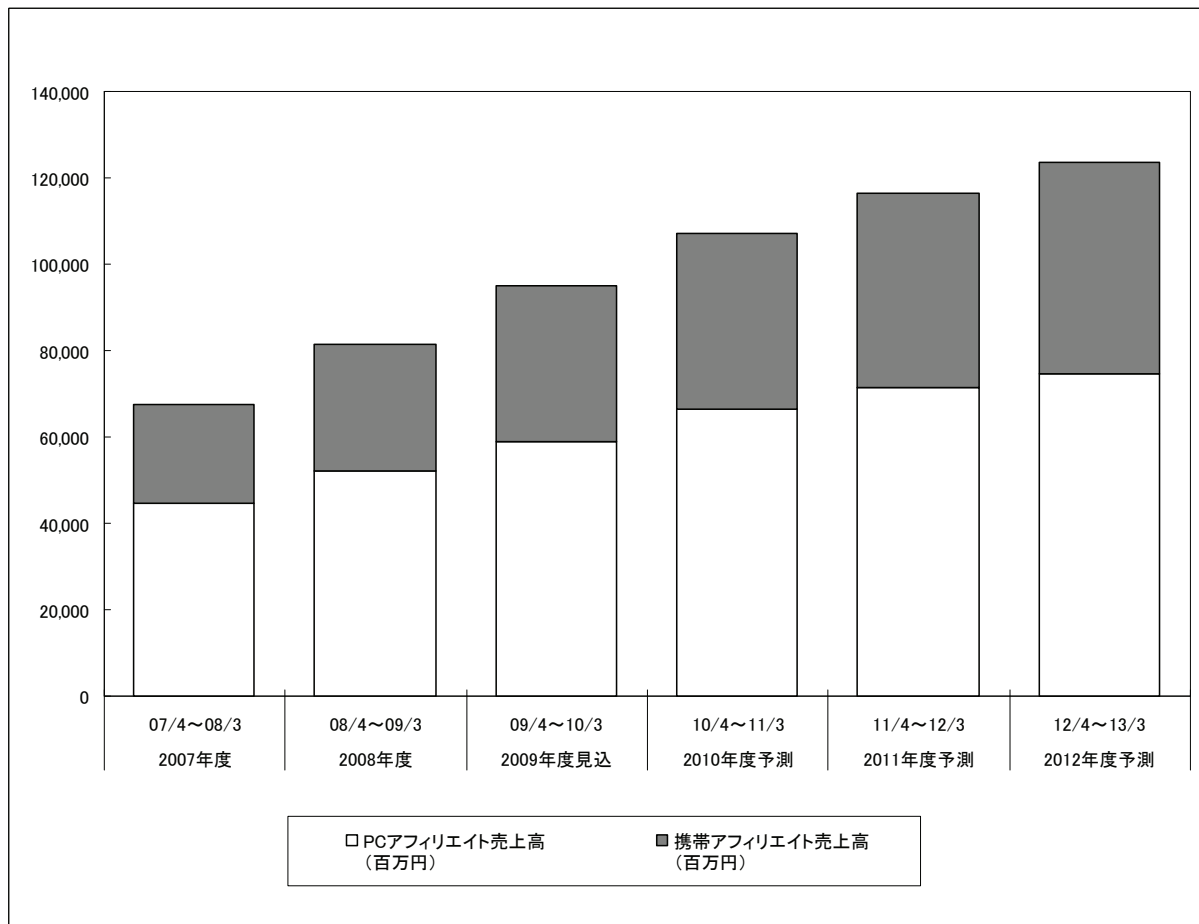
このため、今後、業界全体では不正の排除が求められており、モバイルアフィリエイトにおいては、モバイル広告掲載媒体の増加が、市場拡大のための重要な課題となる。

注:アフィリエイト専用の広告代理店

注1:複数ASPの一括管理ができるソリューション等の提供企業

図表 1.アフィリエイト総市場規模推移

単位:百万円



矢野経済研究所推計

単位:百万円

	2007年度	2008年度	2009年度見込	2010年度予測	2011年度予測	2012年度予測
	07/4~08/3	08/4~09/3	09/4~10/3	10/4~11/3	11/4~12/3	12/4~13/3
PCアフィリエイト売上高(百万円)	44,470	52,150	59,000	66,390	71,310	74,540
携帯アフィリエイト売上高(百万円)	23,190	29,160	35,910	40,700	45,210	49,010
サービス売上高合計(百万円)	67,660	81,310	94,910	107,090	116,520	123,550

矢野経済研究所推計

注 2:PC 及び携帯アフィリエイトには、各々ASP型、ショッピングモール型、独自型による売上高を含む

注 3: ASP 型は、広告費(報酬額)、手数料、諸費用(初期費用、月額費用、オプション費用など)の総計にて算出

注 4:ショッピングモール型(仮想ショッピングモールがアフィリエイト機能を提供しているケース)は広告費(報酬額)と手数料の総計にて算出

注 5:独自型(自社でアフィリエイトを実施しているケース)は広告費(報酬額)のみを算出

注 6:見込は見込値、予測は予測値